

## 2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年12月28日

上場会社名 株式会社シベール 上場取引所 東  
 コード番号 2228 URL http://www.cybele.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木誠司  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)横戸繁春 (TEL)023(689)1131  
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年8月期第1四半期の業績 (2018年9月1日~2018年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	598	0.3	△56	—	△55	—	△41	—
2018年8月期第1四半期	596	△15.1	△105	—	△103	—	△78	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	△28.57	—
2018年8月期第1四半期	△54.43	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	2,859	822	28.8
2018年8月期	2,826	863	30.5

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 822百万円 2018年8月期 863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年8月期	—				
2019年8月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年8月期の業績予想 (2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,825	5.8	24	—	25	—	18	—	12.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年8月期1Q	1,806,800株	2018年8月期	1,806,800株
2019年8月期1Q	370,102株	2018年8月期	370,102株
2019年8月期1Q	1,436,698株	2018年8月期1Q	1,436,753株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

また、「2019年8月期 第1四半期決算短信」より、和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6
3. その他	7
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	7
(2) 生産及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の月例経済報告によりますと、国内景気の基調判断を「緩やかに回復している。」としております。また、先行きについては「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」としております。一方で、当社の事業が依存する個人消費につきましても「持ち直しが続いている。」とされておりますが、消費者マインドは弱含みで力強さを欠いております。

このような事業環境の下、基本方針として「商品力の強化」と「販売力の強化」を掲げ、経営改善に取り組みました。「商品力の強化」につきましては、前事業年度の反省点であったラスクの新商品開発に特に力を入れました。季節ごとに年5回のカatalogを発行し、それに合わせてラスクの新商品を投入する方針のもと、9月には、新商品として「パンプキンラスク」と「ローズラスク」を、11月には、「キャラメルショコララスク」を発売しました。また、焼菓子では、9月には「マロンパイ」を、11月には「2種類のケーキ」を発売しました。「販売力の強化」につきましては、新商品の発売及び各商戦に合わせて、コンセプトを明確にして売場を作りました。その結果、全社売上高は前年同期に比べ0.3%増加し598百万円となりました。損益につきましては、製造原価の改善並びに販売費及び一般管理費の削減に努めたことから、営業損失56百万円(前年同期105百万円)、経常損失55百万円(前年同期103百万円)、四半期純損失41百万円(前年同期78百万円)とそれぞれ改善をはかることができました。当社の損益は季節による変動が大きく、第1四半期は最も利益が上がらない時期となっております。このような当社の季節性に鑑みまして、当第1四半期につきましては赤字ながら大幅な改善と捉えております。

報告セグメントごとの業績の概況につきましては、以下の通りです。

#### (通信販売)

上記の商品戦略により、商品政策と販売促進がうまく連動したこと及び外商による拡販が奏功し、売上高は141百万円と前年同期に比べ25.1%の増加となりました。セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)につきましても、セグメント利益12百万円(前年同期は損失18百万円)と黒字に転換することができました。

#### (店舗販売)

店舗販売においても、主力のラスクが復活し売上を伸ばしたことから、売上高は減少傾向が鈍化し、456百万円と前年同期に比べ5.5%の減少となりました。一方、セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)につきましても、販売費及び一般管理費の削減等により、前年同期に比べ若干ながら増加し、セグメント利益3百万円(前年同期1百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

総資産は2,859百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が減価償却等により26百万円減少した一方、流動資産が現金及び預金とたな卸資産の増加等により44百万円増加、また投資その他の資産が繰延税金資産の計上により14百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債合計は2,036百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円の増加となりました。これは、長期借入100百万円の実施に伴い増加したものであります。

##### (純資産)

純資産は822百万円となり、前事業年度末に比べ41百万円の減少となりました。これは、四半期純損失41百万円の計上によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の業績予想につきましては、2018年10月12日に公表しました内容に変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,293	104,524
売掛金	66,698	71,121
たな卸資産	100,236	119,815
その他	19,759	21,272
貸倒引当金	△342	△368
流動資産合計	271,644	316,364
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,179,520	1,161,415
機械及び装置(純額)	65,275	61,688
土地	1,047,196	1,047,196
その他(純額)	125,661	120,486
有形固定資産合計	2,417,653	2,390,786
無形固定資産		
	9,621	9,723
投資その他の資産		
その他	127,743	142,384
貸倒引当金	△200	△196
投資その他の資産合計	127,543	142,188
固定資産合計	2,554,817	2,542,697
資産合計	2,826,462	2,859,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,097	93,738
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	341,759	379,051
リース債務	6,287	6,287
未払金	112,414	113,536
未払法人税等	11,258	3,791
賞与引当金	5,000	10,000
ポイント引当金	13,612	12,462
株主優待引当金	14,187	—
その他	31,674	38,047
流動負債合計	818,292	856,915
固定負債		
長期借入金	1,064,683	1,101,128
リース債務	34,234	32,662
資産除去債務	40,183	40,337
その他	5,595	5,595
固定負債合計	1,144,696	1,179,723
負債合計	1,962,988	2,036,639

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,355	488,355
資本剰余金	554,141	554,141
利益剰余金	672,298	631,247
自己株式	△851,320	△851,320
株主資本合計	863,473	822,422
純資産合計	863,473	822,422
負債純資産合計	2,826,462	2,859,061

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	596,593	598,455
売上原価	363,498	352,907
売上総利益	233,094	245,548
販売費及び一般管理費	338,256	302,167
営業損失(△)	△105,161	△56,619
営業外収益		
受取賃貸料	4,047	4,057
貸倒引当金戻入額	62	4
雑収入	874	904
営業外収益合計	4,984	4,965
営業外費用		
支払利息	3,503	3,906
雑損失	30	47
営業外費用合計	3,534	3,953
経常損失(△)	△103,711	△55,606
特別利益		
保険解約返戻金	-	52
特別利益合計	-	52
特別損失		
固定資産除却損	890	338
特別損失合計	890	338
税引前四半期純損失(△)	△104,602	△55,892
法人税、住民税及び事業税	2,018	1,610
法人税等調整額	△28,423	△16,451
法人税等合計	△26,404	△14,841
四半期純損失(△)	△78,197	△41,051

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期累計期間(自2017年9月1日至2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整 (注)1	四半期損益計算 書計上額 (注)2
	通信販売	店舗販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,219	483,374	596,593	—	596,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	113,219	483,374	596,593	—	596,593
セグメント利益又は損失(△)	△18,033	1,161	△16,872	△88,289	△105,161

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,289千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自2018年9月1日至2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整 (注)1	四半期損益計算 書計上額 (注)2
	通信販売	店舗販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	141,685	456,770	598,455	—	598,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	141,685	456,770	598,455	—	598,455
セグメント利益又は損失(△)	12,168	3,699	15,867	△72,486	△56,619

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,486千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。



## 3. その他

## (1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、三期連続の営業損失を計上し、最終損益につきましても減損損失の計上等もあり当期純損失301百万円と多額の赤字を計上することとなりました。営業活動によるキャッシュ・フローも44百万円の赤字となるなど、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在していると認識しております。

このような状況を踏まえて、当社といたしましては、営業黒字に転換すべく基本方針として「商品力の強化」と「販売力の強化」を掲げ、収益力の回復、経営基盤の強化に努めてまいります。

資金面につきましては、2018年9月には長期借入100百万円、また2018年10月には短期借入100百万円を実施するなど、今後も安定的な資金調達が見込まれることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## (2) 生産及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を品目ごとに示すと、次の通りであります。

品目	生産金額(千円)	前年同四半期比(%)
ラスク	109,295	100.9
洋生菓子及びその他焼菓子等	121,435	96.2
パン	108,620	94.5
合計	339,350	97.1

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。  
 2 「洋生菓子」と「その他焼菓子等」は管理上区分が困難であるため、一括して記載しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	品目	販売金額(千円)	前年同四半期比(%)
通信販売	ラスク	110,031	122.0
	その他焼菓子等	26,157	131.8
	洋生菓子	3,918	163.2
	パン	1,577	209.8
	計	141,685	125.1
店舗販売	パン	142,862	93.2
	ラスク	103,458	105.3
	洋生菓子	74,822	86.5
	その他焼菓子等	75,762	93.2
	料飲	59,865	93.5
	計	456,770	94.5
	合計	598,455	100.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。